

八王子市図書館を対象とした 図書館評価のためのデータ分析・第2報

中央大学大学院 博士前期課程
文学研究科 社会情報学専攻
青木 優大

1 : 昨年度までの研究の振り返り

- ・ 図書館パフォーマンス指標（ISO11620）を使用
- ・ 貸出、入館者数の推移
- ・ 年齢別・分館別概況
- ・ 年齢別・資料種別貸出状況

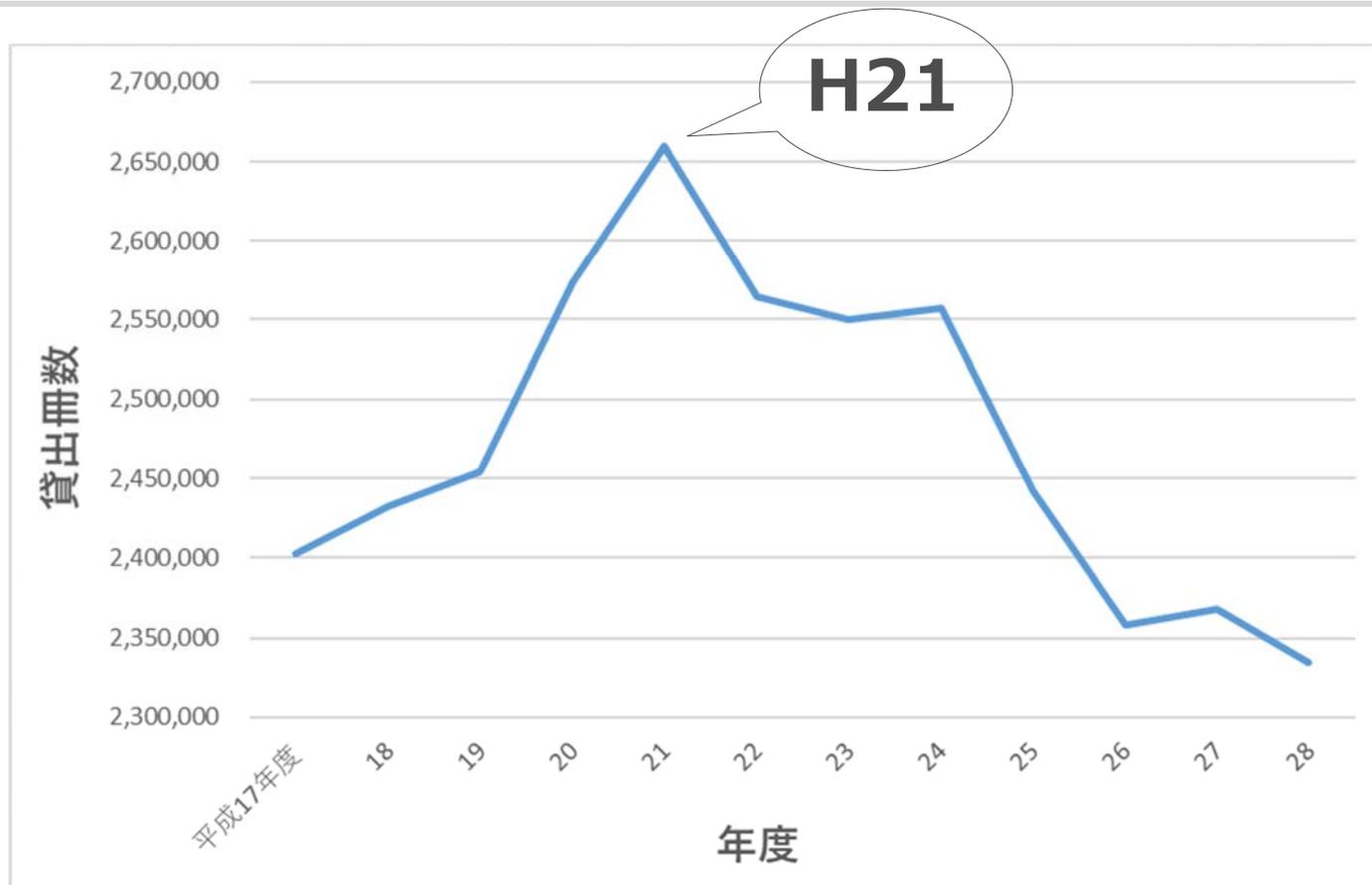
図書館パフォーマンス指標……？

項目名	H27	H28	H29
利用者当たり費用	8,219.3	8,477.0	9,591.2
人口当たり来館回数	6.2	6.4	6.1
来館当たり費用	139.4	140.1	159.9
人口当たり貸出数	4.2	4.1	4.0
貸出当たり費用	205.2	215.6	245.5
蔵書回転率	1.56	1.53	1.47

- ・ 図書館パフォーマンス指標（ISO11620）を使用
- ・ 数値は全体として悪化傾向
（利用者、貸出ベースの指標なので、これは予想通り）

2

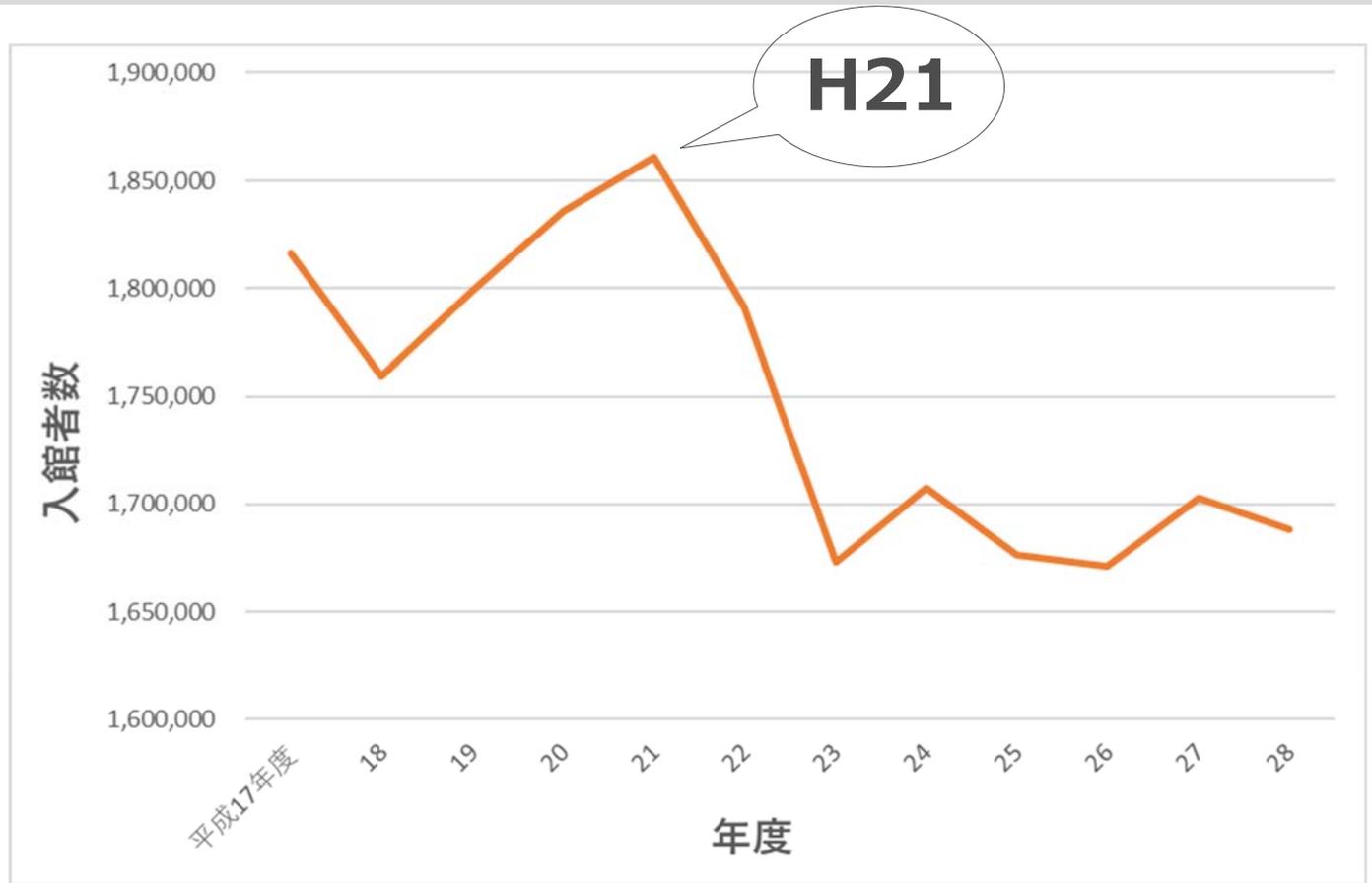
八王子市図書館 貸出総数の推移



出典：統計八王子より図書館利用状況データを加工

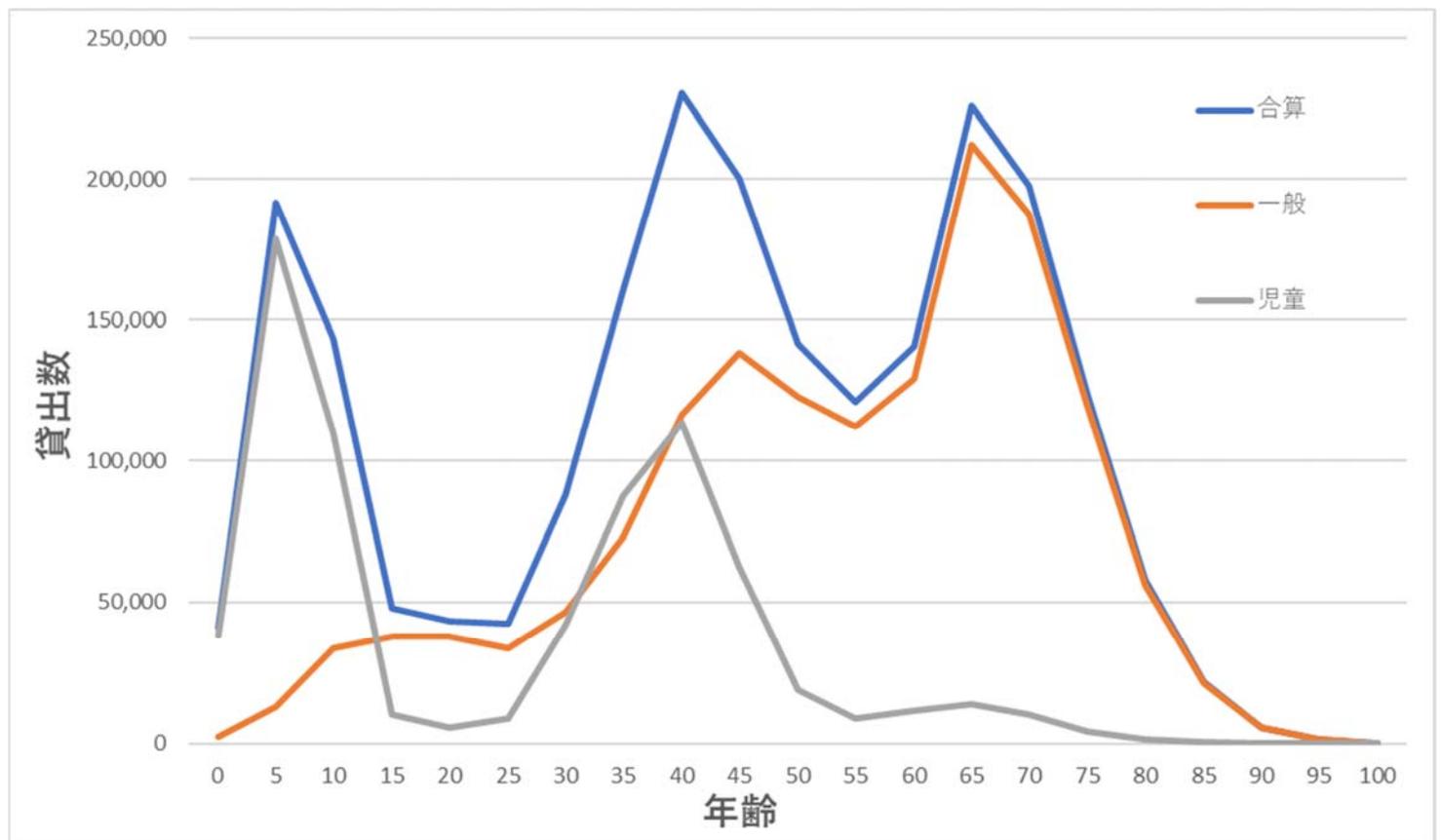
3

八王子市図書館 入館者数の推移

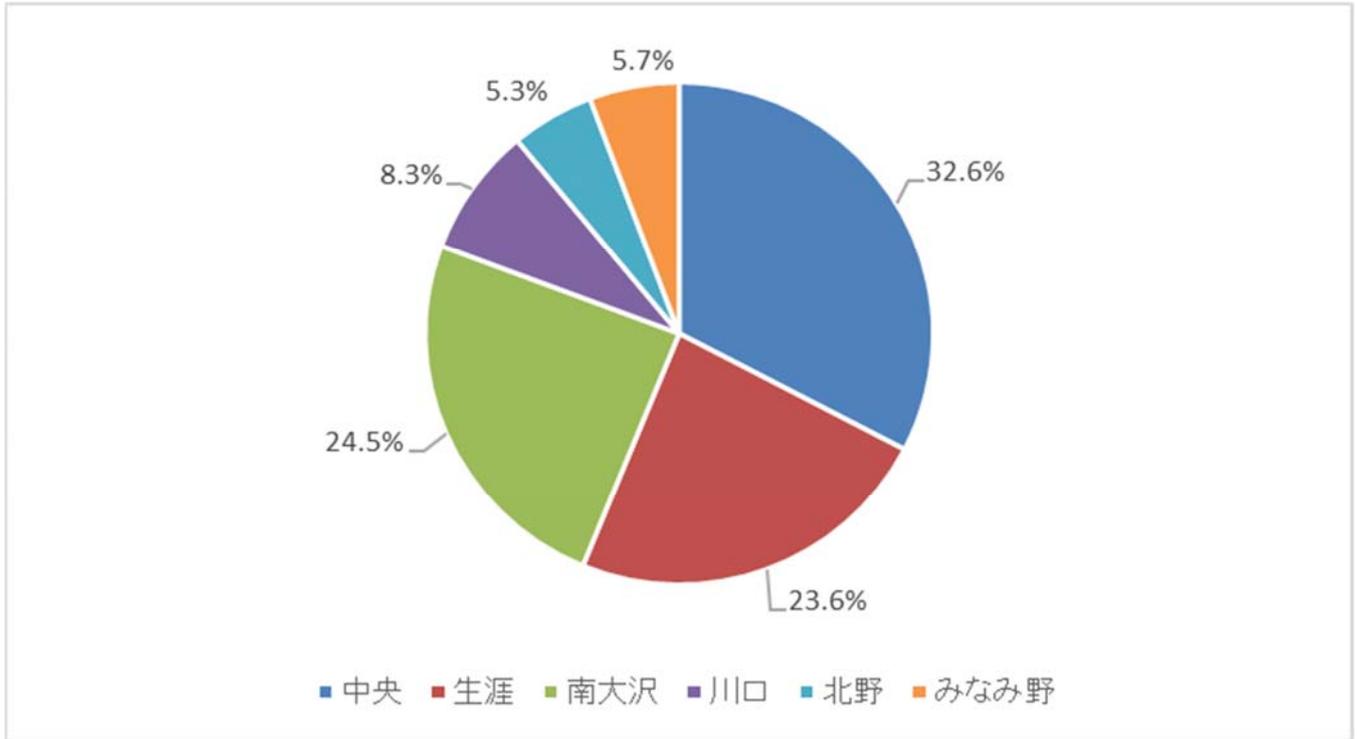


出典：統計八王子より図書館利用状況データを加工

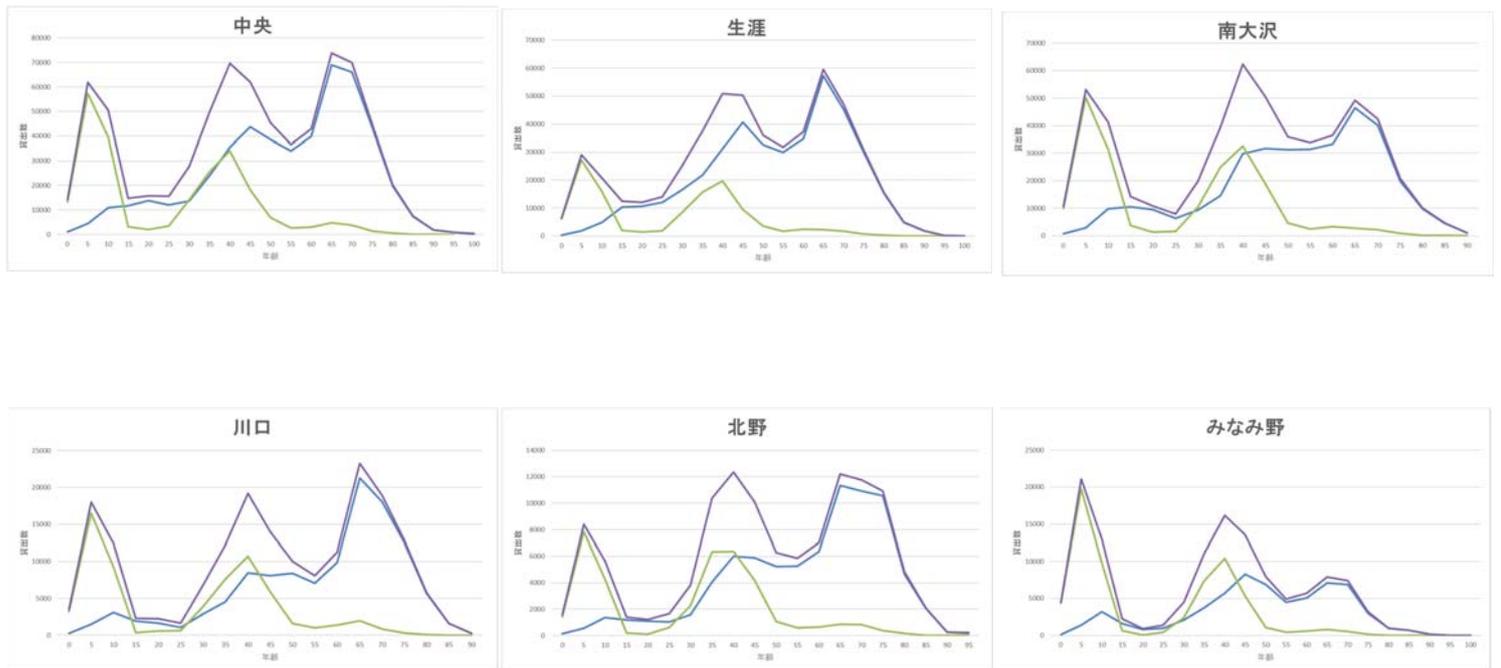
2017年度（H29年度）年齢別貸出状況



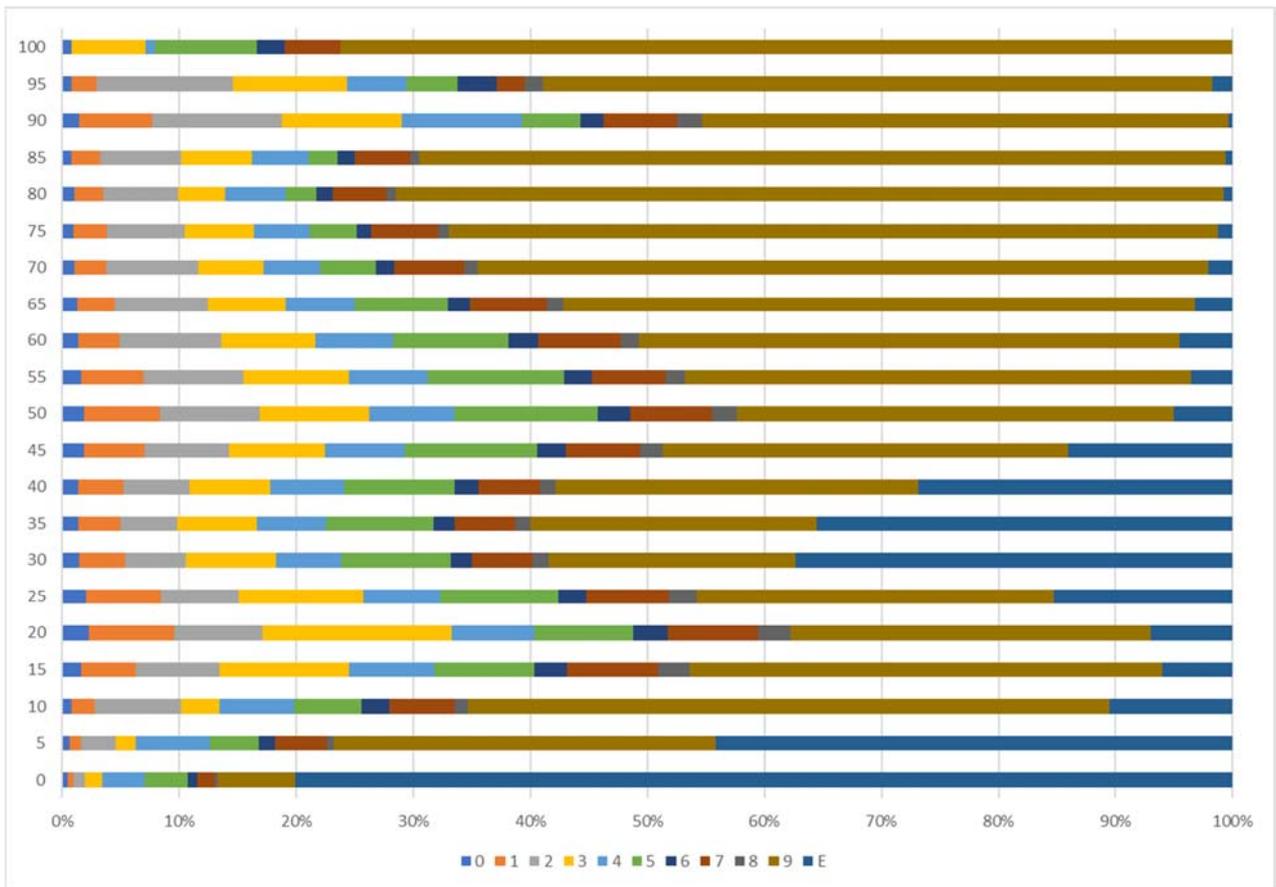
2017 貸出数内訳 (館別)



比較 2017年度分館別 (貸出数：年齢)

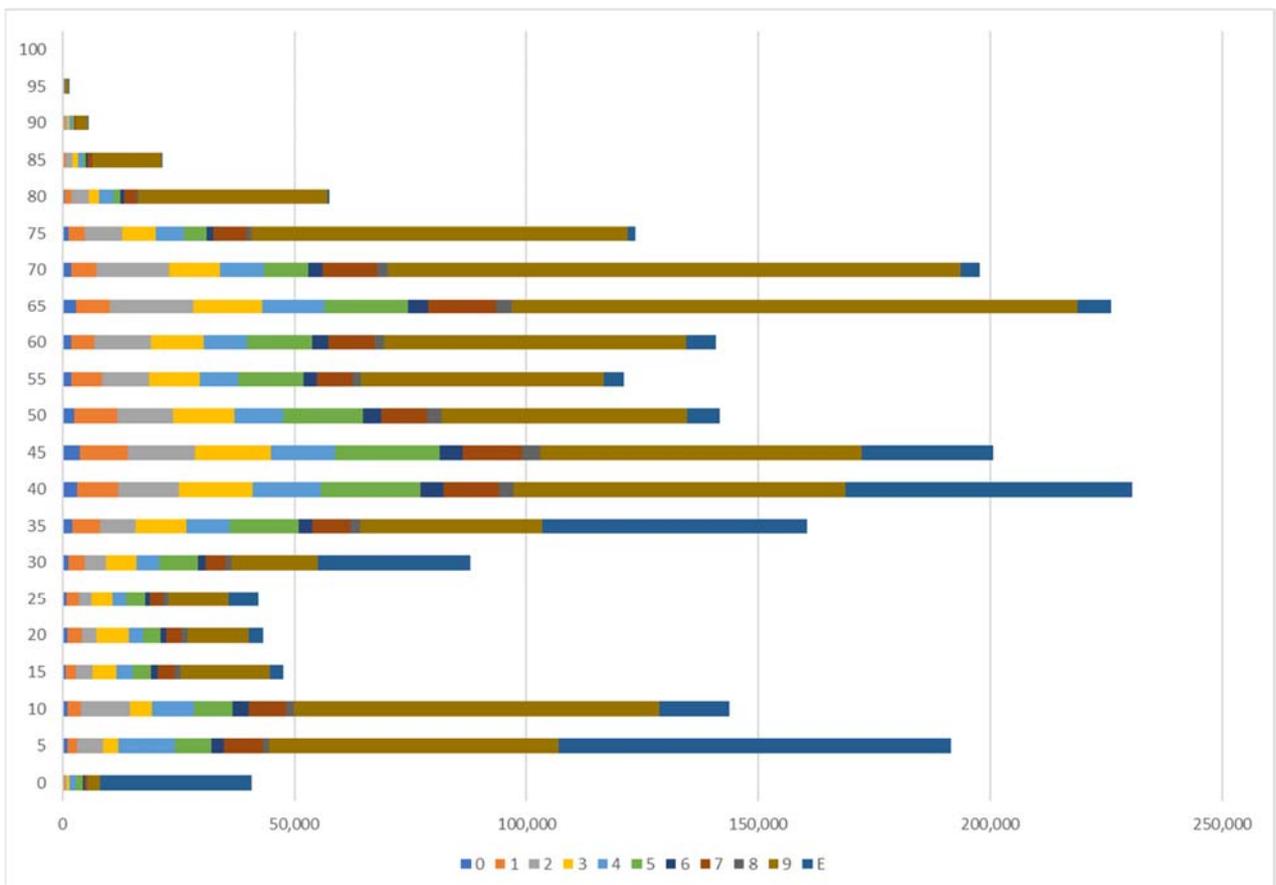


H29年度年齢別貸出割合（合算・100%積み上げ）



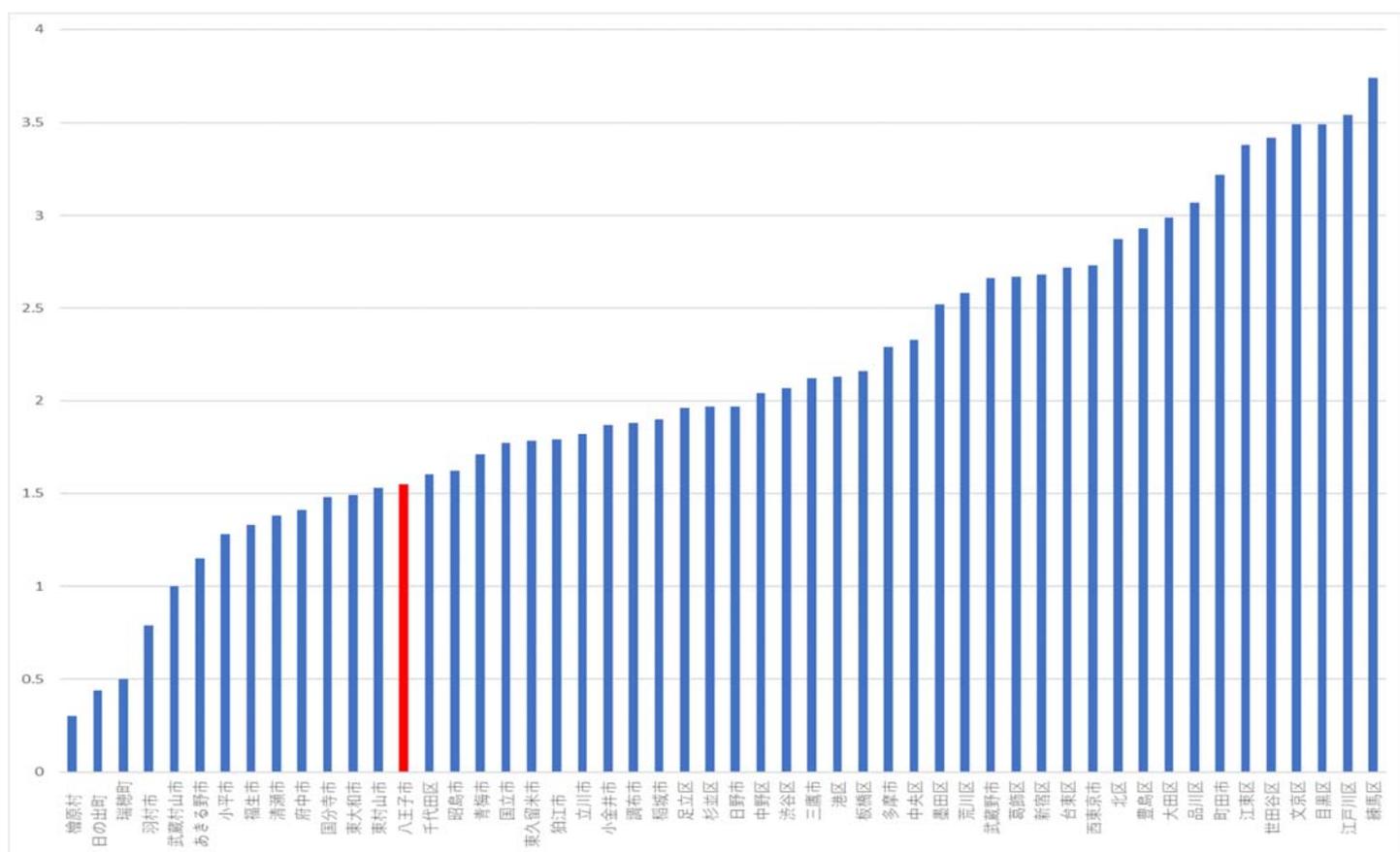
8

H29年度年齢別貸出割合（合算・絶対数積み上げ）



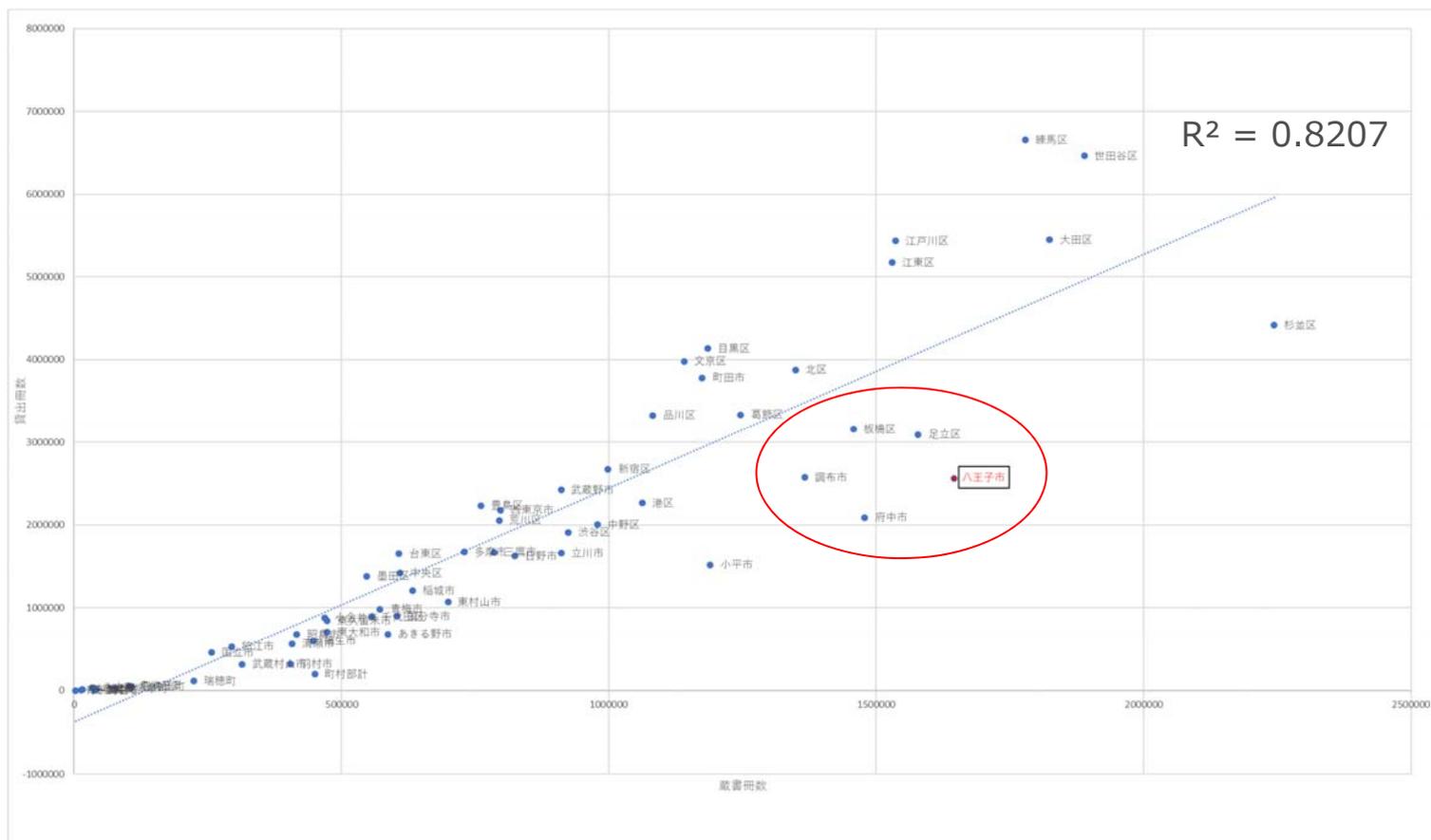
9

蔵書回転率比較（東京都内自治体）



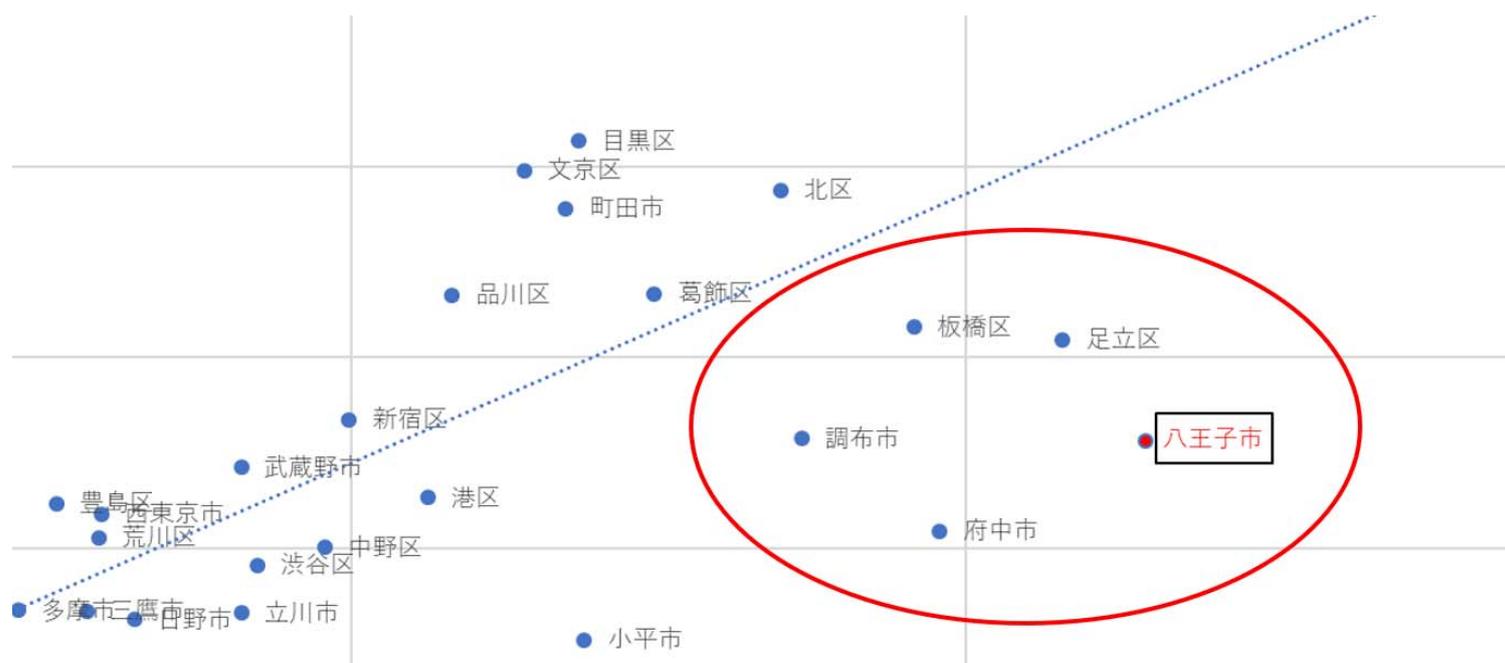
10

散布図（蔵書数：貸出数）



11

散布図（蔵書数：貸出数） 拡大図



12

昨年度（1月発表まで）のまとめ

- ・「図書館パフォーマンス指標」を用いた評価
 - 得られた数値でどう評価すればよいのか……？
 - ……これ自体はあんまり。でも無意味ではなかった（反省点・その後利用できる点があった）
- ・年齢を利用した評価
 - 評価の視点として年齢を利用
 - 世代毎の利用には差がある
 - 高齢化の影響と世代の傾向をどう差別化するか？
- ・他自治体との比較検討
 - 散布図を描いた時に近くに配置される自治体の発見
 - ……参考レベルの話だと考えている。

13

2 : 追加分析

- ・ コメントレスポンス……
 - 「経年しても貸出の傾向は変わらない」は本当か？
 - 全体・分館ごとの経年比較
- ・ 分館・年齢別貸出状況（地図編）
 - 貸出数の地域ごと可視化
 - 年齢別の利用状況

14

発表時に頂いたコメント……

- ・ 「経年しても利用傾向に変化がない」
という（青木の）発表を受けて……

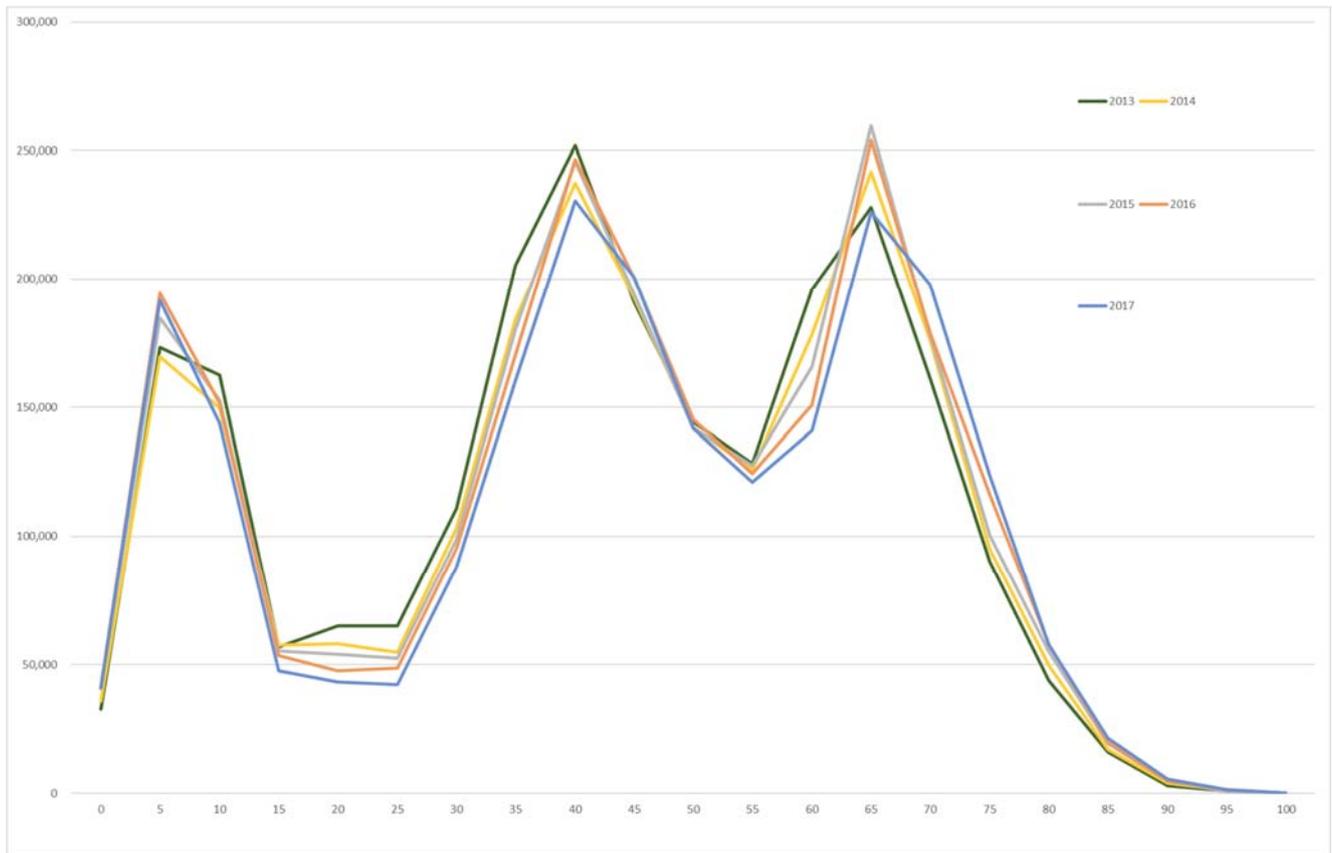
→（参加者の方から）

「本当にそうだろうか？」

……追加でデータを頂き、もう一度改めて確認してみる

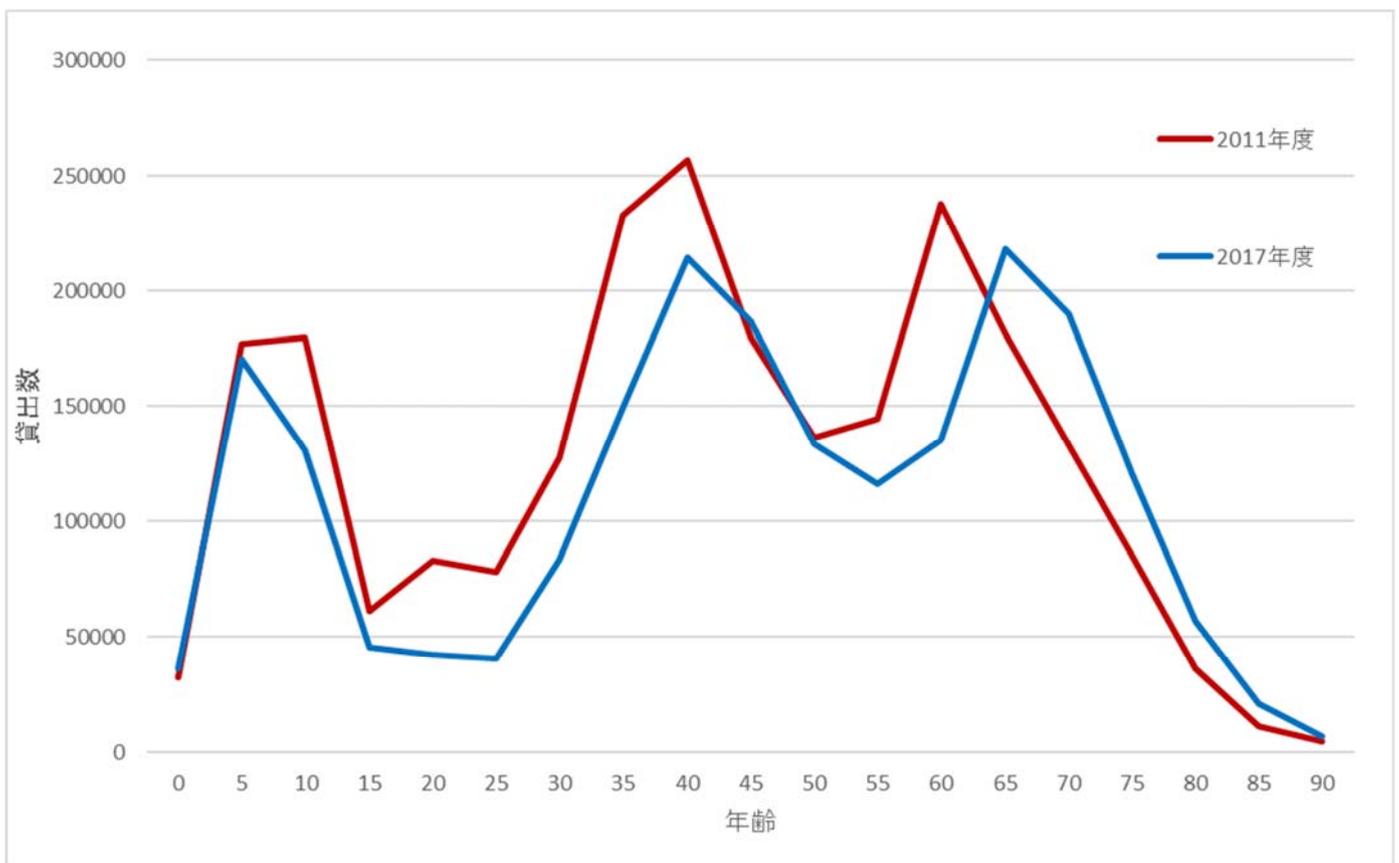
15

(参考) 年齢別貸出割合2013~2017



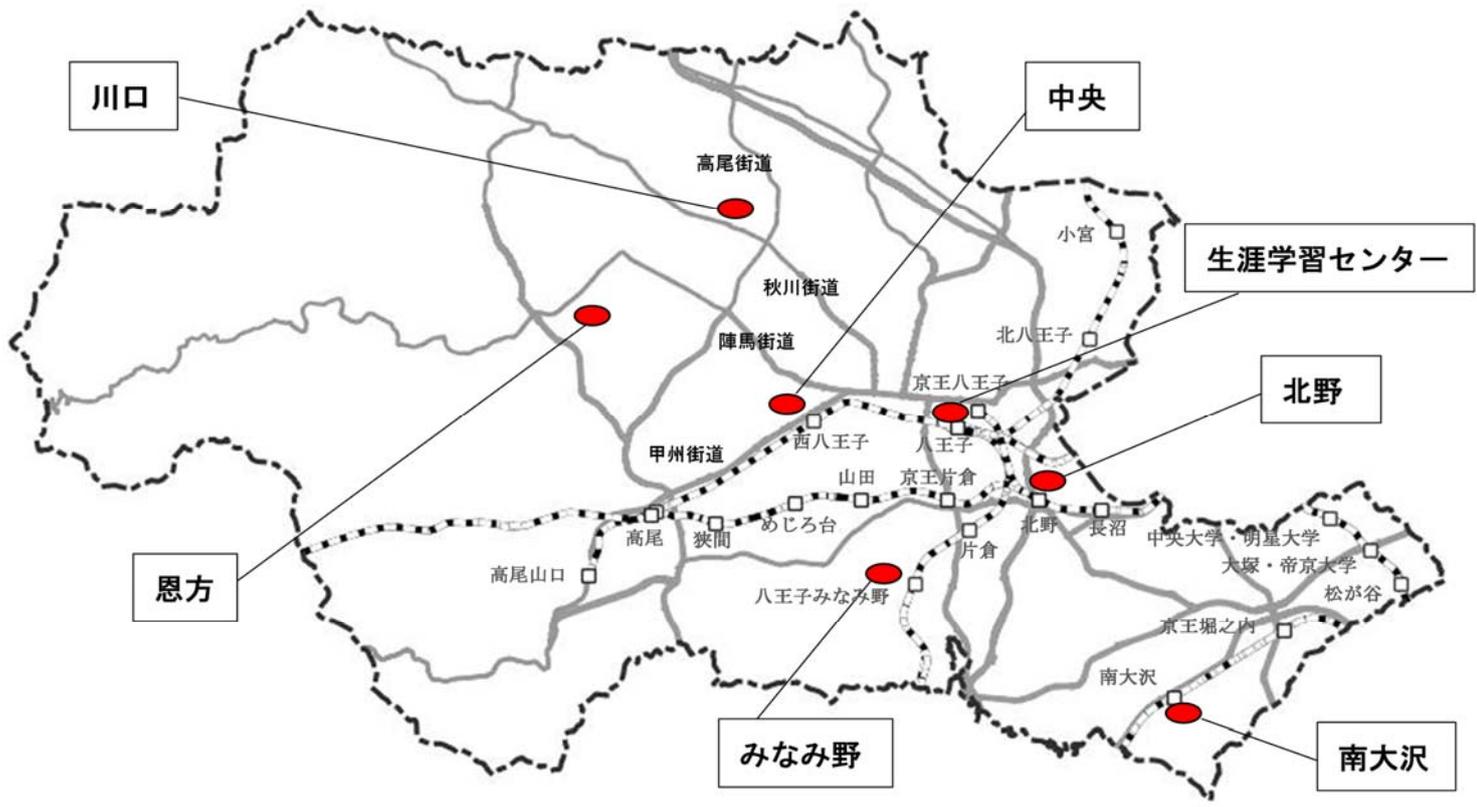
16

比較 2011~2017 5館合計

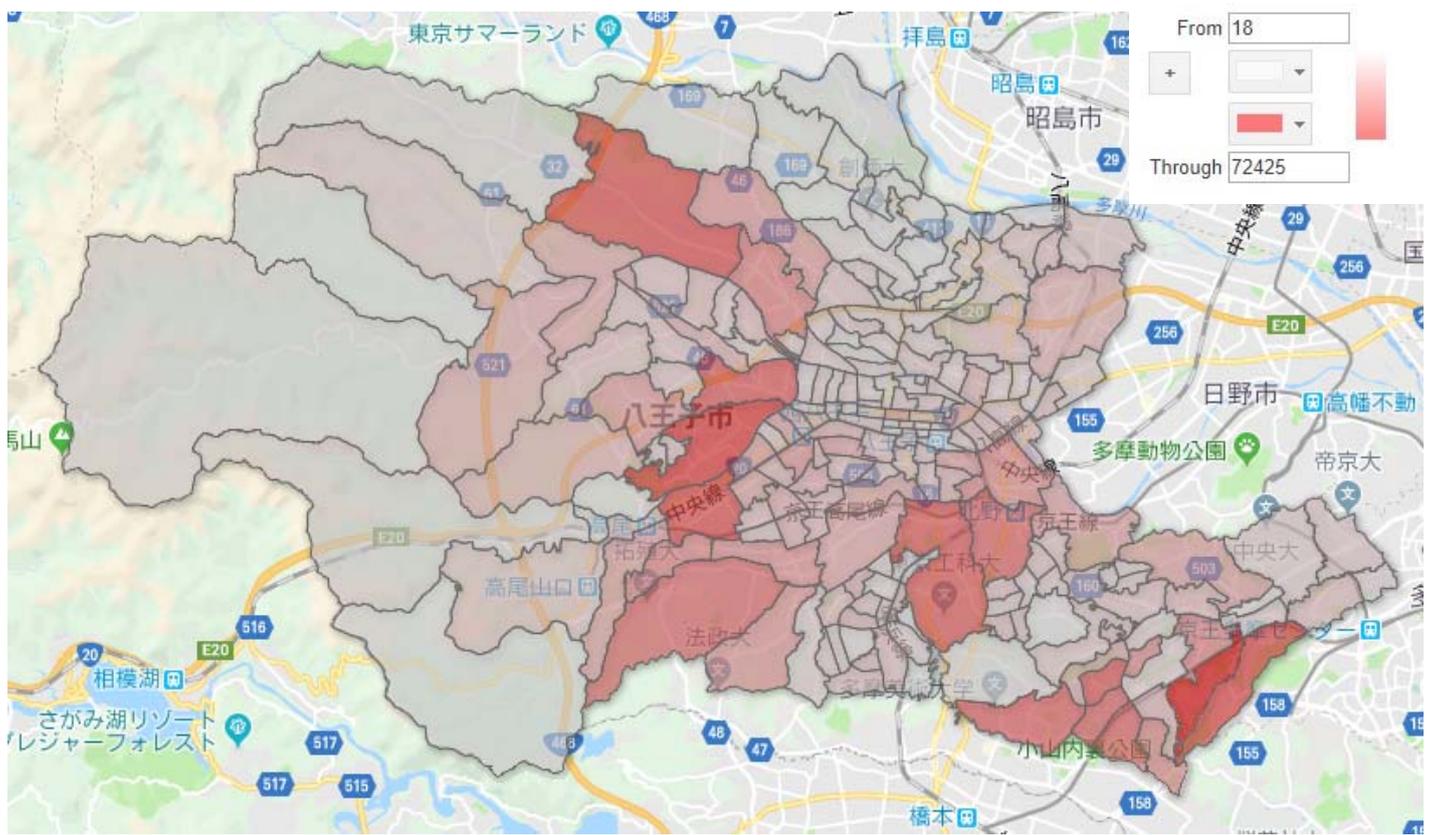


17

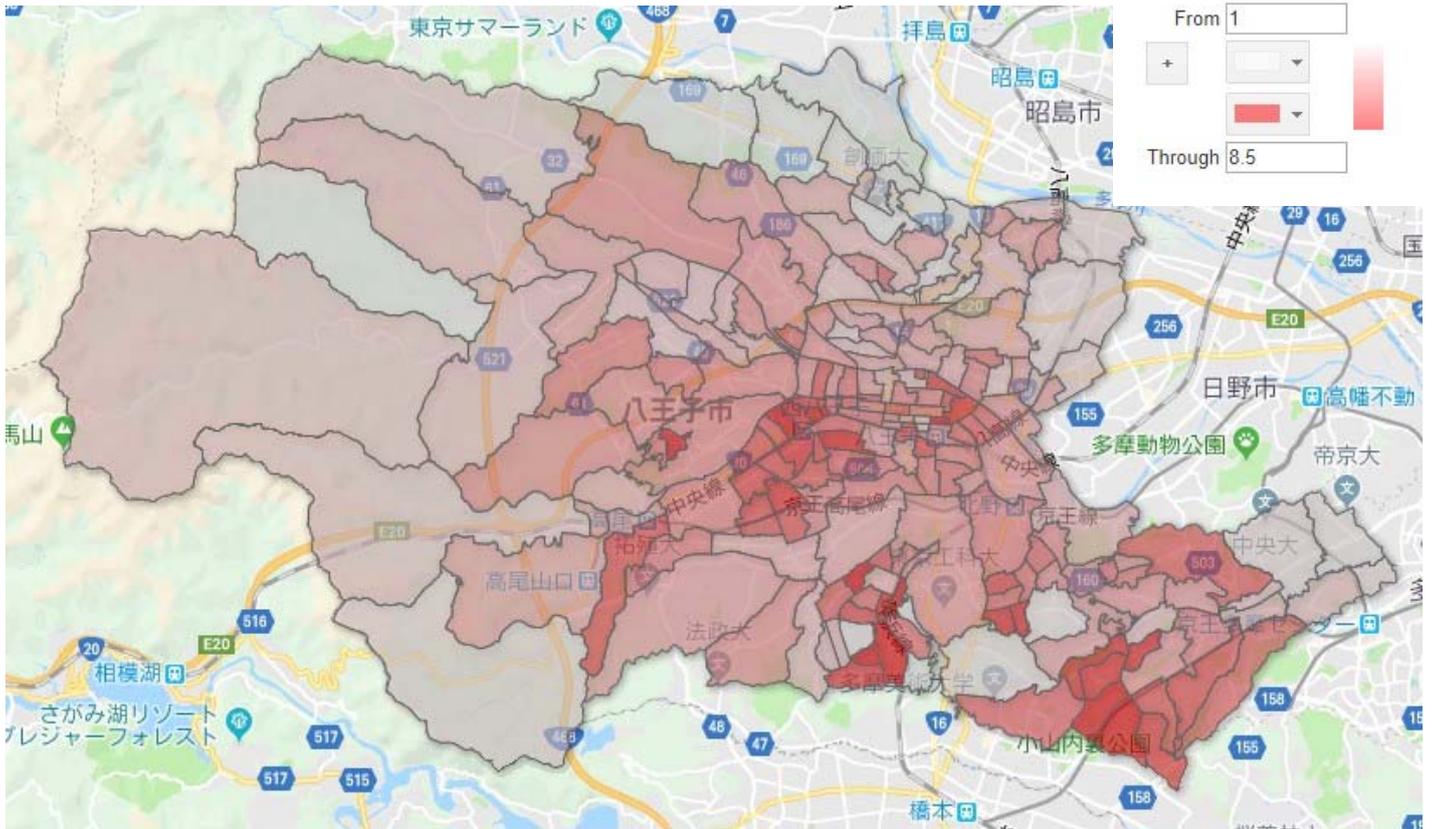
参考：分館位置



貸出数（絶対数）

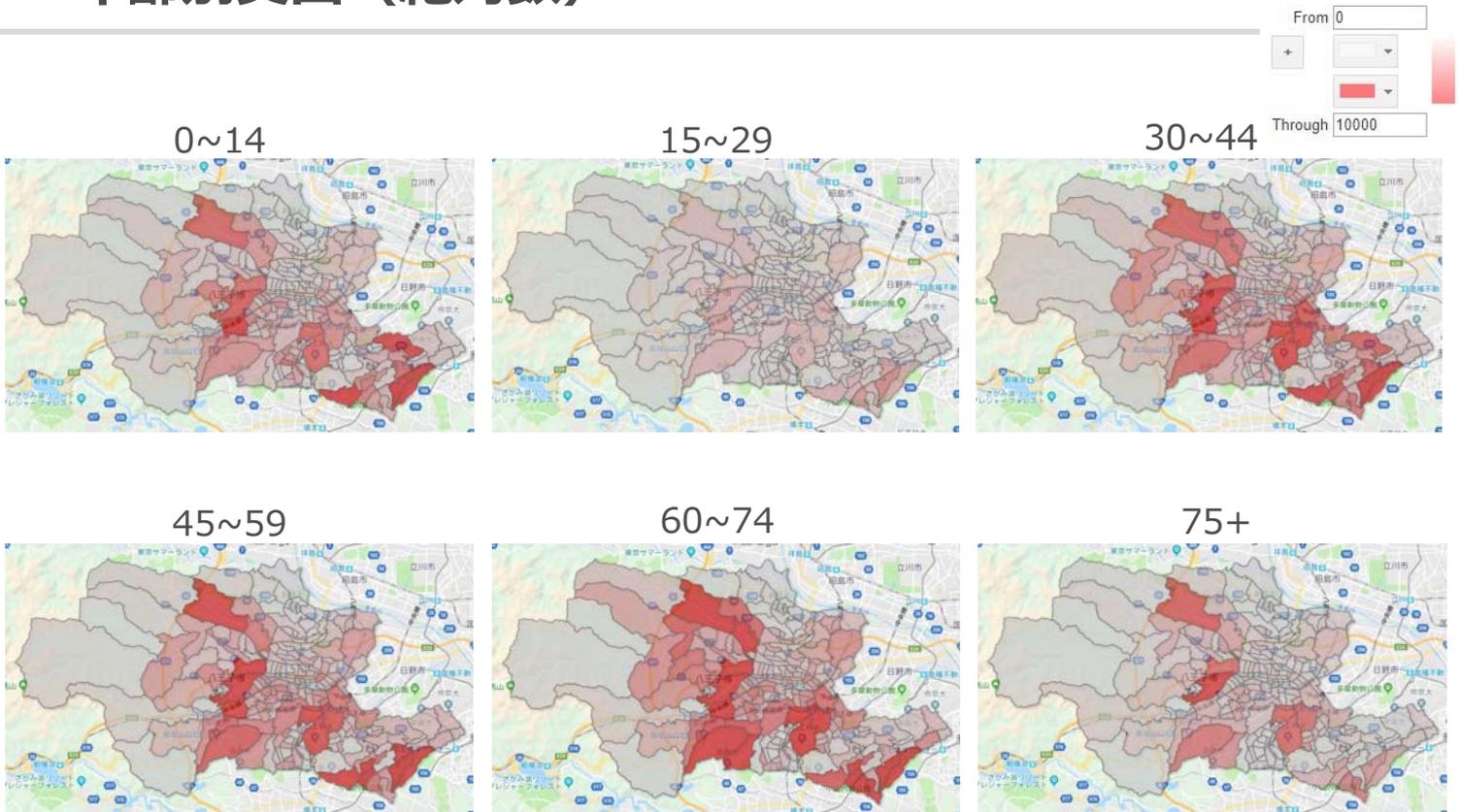


人口あたり貸出数



20

年齢別貸出（絶対数）



21